

周術期等の出血性・血栓性リスク管理において休止を考慮する医薬品と推奨休薬期間

一般名	商品名	術前休薬期間			
抗凝固薬	アピキサバン	エリキュース	出血低リスク ^{†1} ⇒1日 出血中～高リスク ^{†2} ⇒2日		
	エドキサバン	リクシアナ	1日		
	ダビガトラン	プラザキサ	Ccr	出血リスク(Standard)	出血リスク(High) ^{†3}
			>50	1日	2～4日
	≤50	2日	4日		
リバーロキサバン	イグザレルト	1日			
ワルファリン	ワーファリン	3～5日			
抗血小板薬	アスピリン	アスファネート/イスキア/キャブピリン コンプラビン/タケルダ/ニトギス バイアスピリン/バッサミン/パファリン ファモター/ロレアス	7～14日		
	イコサペント酸エチル	エパデール/エパラ/エパロース ソルミラン/ロトリガ	7日		
	クロピドグレル	コンプラビン/プラビックス/ロレアス	7～14日		
	サルボグレラート	アンブラーグ	1日		
	シロスタゾール	コートリズム/シロスレット/シロナミン プレタール/プレトモール/ホルダゾール	3日		
	チカグレロル	ブリリント	5日		
	チクロピジン	パナルジン/マイトジン	7～14日		
	プラスグレル	エフィエント	14日		
	ベラプロスト	ケアロード/ドルナー/ベラサス/プロサイリン	1日		
	抗血小板作用を有する薬剤	イフェンプロジル	セロクラール	1～2日	
ジピリダモール		ペルサンチン/ヨウリダモール	1～2日		
ジラゼブ		コメリアンコーワ	2～3日		
ニセリトロール		ペリシット	1日		
リマプロスト		オパルモン/プロレナール	1日		
SERM・EE製剤	バゼドキシフェン	ビビアント	3日		
	ラロキシフェン	エビスタ	3日		
	エチニルエストラジオール (EE)製剤	アンジュ/ジェミーナ/シンフェーズ トリキュラー/ファボワール/マーベロン ヤーズ/ラベルフィーユ/ルナベル	28日		

†1: 出血低リスク: 内視鏡的生検、前立腺/膀胱の生検、電気生理学的検査または高周波カテーテルアブレーション(複雑な処置を除く、下記参照)、非冠動脈の血管造影、ペースメーカー・ICDの植え込み術(先天性心疾患のような複雑な解剖学的な状態がない場合)

†2: 出血高リスク: 左側の複雑なアブレーション(肺静脈隔離術、心室頻脈)、複雑な内視鏡検査(ポリペクトミー、括約筋切開を伴うERCPなど)、脊髄麻酔、硬膜外麻酔、腰椎穿刺(診断目的)、胸部手術、腹部手術、整形外科の大手術、肝生検、経尿道的前立腺切除術、腎生検、体外衝撃波結石破碎治療

†3: 出血リスク(High): 完全な止血機能を要する大手術(例: 心臓外科手術、脳外科手術、腹部手術、重要臓器に関連する手術)、腰椎麻酔など。また、高齢、合併症、抗血小板剤の併用など出血リスクの高い患者の手術。

※休薬関連同意書(出血助長作用のある薬の中断・継続)の対象となる医薬品は、上記一般名において下線の付いた医薬品です。

※当表の休薬期間はあくまで目安です。適宜、各種ガイドラインを参照する等、患者個々に対して適切な対応をお願い致します。

※コンプラビン、ロレアス: アスピリンとクロピドグレルの配合剤です。